

演題	新しいメンバーの育成
副題	成功と反省から見えてきたこと

施設名	恵信ロジェ山梨		
発表者 職・氏名	介護主任 武井梨沙	共同研究者 (いる場合)	米山潤、矢倉遥、遠藤きく江 大高奈緒美、萩原魁
施設概要	平成16年10月開設 介護老人福祉施設 入居定員50名 ショートステイ20床 デイサービス40人/日		

【取り組んだ課題】
<p>新しいメンバー2人に対して、最初は同じやり方で指導をしていたが1人ひとりに合った育成方法があると気づき、そのメンバーに合った育成方法を検討し実施した。</p> <p>私達の仕事は、業務についてのみ教えるのではなく、社会人としての心構えや介護の魅力、介護に対する志など、精神面的な部分についても一緒にサポートした。</p>
【具体的な取り組み】
<ul style="list-style-type: none"> ・新しいメンバーの指導をプリセプター制度を活用し指導することで話しやすい環境を作っていった。 ・仕事の最後に、ゆっくりと振り返りの時間をもうけ、悩んでいることや疑問に思ったことを聞き助言や指導方法の再検討をした。 ・担当の指導者は、1人で教えるのではなく、他メンバーとコミュニケーションをとり、どのような伝え方がわかりやすいか話し合った。 ・仕事の内容だけでなく、指導者が思う介護の魅力や志を伝える。

<ul style="list-style-type: none"> ・1日の目標、1週間の目標、1ヶ月の目標、3ヶ月の目標をプリセプターとプリセプティの2人で目標を設定していった。
【活動の成果と評価】
<ul style="list-style-type: none"> ・新しいメンバーと指導者の間に強い信頼関係が生まれ、指導者が他のメンバーと新メンバーの間に入ることで職員間のコミュニケーションも皆でとれるようになり、チームケアの大切さを伝えることができた。 ・仕事の中で、指導者がただ業務のことだけを教えるのではなく、大切なことは、新しいメンバーが悩んでいることをしっかりと聞くことと介護という仕事の魅力も含めて伝えていくことだと感じた。
【今後の課題】
<ul style="list-style-type: none"> ・新しいメンバー2人の指導の中で感じた「心を支える指導」を皆で取り組んでいく必要があると思いました。 ・指導内容の他に指導期間も個別に設定していくことが必要。
【参考資料など】